フジゲン株式会社　本社・本社工場　選考理由

取り組みテーマ：TQM でカーパーツ事業　成功への道を拓く
TQM 活動要素：方針管理，新商品サービス開発管理

フジゲン株式会社 本社・本社工場（以下，同組織と略す）は，従来の主力事業であったギター製造で培った木工技術および加飾技術を生かし，新たな事業の柱としてカーパーツ事業へ参入した．1997 年の事業開始以来，品質，コスト，納期に対する要求水準の厳しい自動車業界において約 30 年間にわたり事業を継続し，顧客から選ばれる事業基盤を構築している．

同組織の第一の特徴は，ISO 9001 に基づく品質マネジメントシステムを基盤として，方針管理などの TQM 要素を段階的に導入し，経営課題の解決に活用している点である．会社全体の品質方針に基づいて目標と管理指標を設定し，各部・課へ展開するとともに，「品質目標計画書・実績書」を用いた月次レビューや時系列グラフによる進捗管理を実施している．また，全社的なコスト低減活動を継続し，各部門の創意工夫を引き出している．

第二の特徴は，顧客との共創を組み込んだ新製品開発管理の仕組みである．従来，属人的であった新製品立ち上げ業務を見直し，「新製品立上げプロセスフローシート」，「新製品立上計画書」，「設計審査・検証記録」などを整備した．さらに，試作，評価，承認などの重要段階に顧客の参画を組み込み，生産移管前の未然防止を図っている．計画納期達成率もほぼ 100％で推移しており，一定の成果が確認できる．

第三の特徴は，顧客価値を高めるために技術と工程の範囲を拡大してきた点である．顧客から基材の支給を受けて加飾から検査までを担う体制から，接着，樹脂成形，さらに一体成形へと技術領域を広げ，複数工程を一貫して提供できるワンストップ体制を構築した．これは，同組織が提供できる価値と技術的責任の範囲を広げ，カーパーツ事業の継続と発展につなげた取り組みとして評価できる．

今後は，経営課題と TQM 活動との関係を明確にし，各活動がどの課題の解決と成果の創出に結び付くのかを整理することが望まれる．方針管理では，方針，目標値および方策を一体として各部門・各階層に展開するとともに，期末に方針の達成状況を総括し，方針管理の仕組み自体を評価・改善する必要がある．新製品開発管理では，顧客が期待するデザインを実現するうえで重要となるプロセスを特定して充実させ，適切な管理指標によってその効果を把握することが求められる．さらに，熟練者や一部の担当者に依存している固有技術，判断方法および知識を形式知化し，組織として蓄積・活用することで，活動の再現性と持続性を高めることが期待される．

以上により，フジゲン株式会社　本社・本社工場は，日本品質奨励賞 TQM 実践賞の授賞資格を備えていると判断する．